

日時：令和8年9月25日（金）13：30～

場所：土地改良事業団体連合会3階 大会議室

農地の大区画化に向けた 事業実施に係る説明会

～大区画化等加速化支援事業等の実施説明会～

岩手県農林水産部農村建設課
岩手県大区画化等推進協議会

次第

- | | | |
|---|--------------------------------|-------------------|
| 1 | 開会 | 13 : 30 |
| 2 | 挨拶 | 13 : 30 ～ 13 : 35 |
| 3 | 説明内容 | |
| | (1) 令和 8 年度追加配分の申請スケジュール【資料 1】 | 13 : 35 ～ 14 : 00 |
| | (2) 農地の大区画化に係る事業実施【資料 2】 | 14 : 00 ～ 14 : 25 |
| | (3) 予算要求・申請等における留意事項【資料 3】 | 14 : 25 ～ 14 : 50 |
| | (4) その他【資料 4】 | 14 : 50 ～ 15 : 00 |
| 4 | 閉会 | 15 : 00 |

令和 8 年度追加配分の 申請スケジュール

～大区画化等加速化支援事業の申請スケジュール～

令和 8 年度地区決定（追加）の考え方

- **事業効果の早期実現**が可能な地区
- 大区画化等加速化支援事業の事業趣旨である**農地の大
区画化に取り組む地区**



- 令和 8 年 6 月末〆切の追加要望量調査
⇒ **令和 8 年度中の実施を要望した地区** ⇒ **地区決定予定**
- 令和 8 年 8 月末〆切の令和 9 年度要望量調査
⇒ **令和 9 年春施工を要望した地区**
⇒ **令和 9 年度に大区画化（1 ha）を行う地区** ⇒ **令和 8 年度へ
申請の前倒し
を検討中**

令和 8 年度追加要望地区申請スケジュール

内容	令和 8 年度						
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①内報 (国⇒協議会)	▶						
②地区選定、地区決定 (協議会⇒事業主体)		▶					
③現地ヒアリング (必要に応じて実施)		▶					
④地区採択申請書提出 (事業主体⇒協議会)		▶					
⑤地区採択通知、割当内示 (協議会⇒事業主体)			▶				
⑥地区交付申請書、交付決定前着手 (事業主体⇒協議会)			▶				
⑦工事実施			▶				
⑧完了確認・支払い (協議会⇒事業主体)							▶

3月末までに工事、完了確認、交付金支払い

※ ①②④⑤は県農村整備室、農村整備センター等を経由。11月工事着手を想定。

令和 9 年度採択要望地区の令和 8 年度前倒し申請スケジュール

【令和 9 年春施工】

内容	令和 8 年度							令和 9 年度		
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
①内報（国⇒協議会）	▶									
②地区選定、地区決定 （協議会⇒事業主体）		▶								
③現地ヒアリング（必要に応じて実施）			▶							
④地区採択申請書提出 （事業主体⇒協議会）			▶							
⑤地区採択通知、割当内示 （協議会⇒事業主体）				▶						
⑥地区交付申請書（事業主体⇒協議会）					▶					
⑦地区交付決定、概算払い （協議会⇒事業主体）						▶				
⑧交付金持越手続							▶			
⑨工事実施								▶		
⑩完了確認（協議会）										▶

【工事が年度を跨ぐ場合】
全額概算払い⇒交付金持越
⇒工事実施

【交付金に残額が出た場合】
残額返還となることに注意

※①②④⑤は県農村整備室、農村整備センター等を経由。交付金を持越して令和 9 年春の施工を想定。

農地の大区画化に係る 事業実施について

～令和 9 年度における実施方針～

大区画化等加速化支援事業

令和9年度予算概算要求額 6,658百万円（前年度 500百万円）

<対策のポイント>

食料・農業・農村基本計画に基づき、初動5年間で農業構造転換を推進し、生産性の向上を図るため、法人等の農業者が自ら行う畦畔除去等の簡易整備による農地の大区画化等の取組を支援します。

<事業目標>

- 水田の基盤整備（約9万ha）うち、1ha以上の大区画化（約6万ha〔令和11年度まで〕）
- 基盤整備完了地区における事業実施前後での農業法人の経営農地面積の増加率（1.5倍以上〔令和11年度まで〕）

<事業の内容>

- 1. 農地の区画拡大や省力化整備に係る基盤整備** ※下線部は拡充内容
畦畔除去による区画拡大や暗渠排水等の簡易な基盤整備を定額・定率で支援します。
【定額上限】区画拡大 7万円/10a、畦畔除去 4万円/100m、
暗渠排水 18万円/10a 等
※担い手に集約化（面的集積）する場合、定額上限を1.2倍まで引上げ。
1ha以上に大区画化する場合、定額上限を1.32倍まで引上げ。
- 2. 調査・調整活動等に係るソフト事業**
権利関係、農家意向、農地集積等に関する調査・調整活動等に要する経費を定額で支援します。
【定額上限】300万円/地区
- 3. 大区画化等推進協議会の事務費**
大区画化等推進協議会の事務費を定額で支援します。
【定額上限】2,000万円/協議会

【実施区域】農振農用地区域のうち地域計画の策定区域等

【実施要件】農地の区画拡大を実施すること

<事業の流れ>

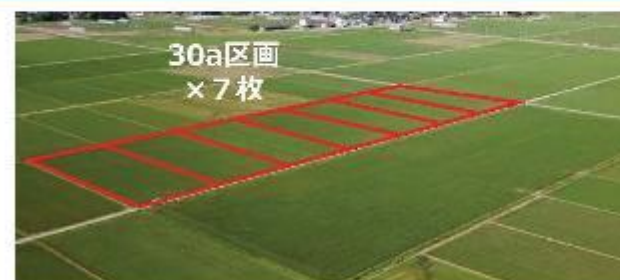


※大区画化等推進協議会：各都道府県に1つ設置し、農業者への技術指導、交付事務等を実施。

(注) 上記要求額のほか、事項要求

<事業イメージ>

法人等の農業者が自ら施工可能な簡易な整備によって、機動的に農地の区画拡大を実施し、併せて担い手への農地集積や更なる大区画化・省力化を図ることで、競争力ある農業の実現に寄与します。

簡易な基盤整備
により区画拡大

区画拡大イメージ



畦畔除去

【お問い合わせ先】 農村振興局農地資源課 (03-6744-2208)

基盤整備の主な支援メニュー

主な事業種類	条件	助成単価【主なもの】			備考
		1. 通常	2. 集約化する場合	3. 大区画化する場合	
農用地の区画拡大	高低差10cm超 表土扱い有	27万5千円/10a (46万5千円/10a)	33万円/10a (55万5千円/10a)	36万円/10a (61万円/10a)	() は水路変更（管水路化等）を伴う場合
	高低差10cm以下 表土扱い無	7万円/10a (25万5千円/10a)	8万円/10a (30万5千円/10a)	9万円/10a (33万5千円/10a)	
	畦畔除去のみ	4万円/100m	4万5千円/100m	5万円/100m	
暗渠排水	バックホウ工法	22万5千円/10a	27万円/10a	29万5千円/10a	助成単価の加算 ○地下かんがい導入 + 4万円/10a ○実施設計(外注) + 2万円/10a
	トレンチ工法	18万円/10a	21万5千円/10a	23万5千円/10a	
湧水処理	表土扱い有	24万円/100m	28万5千円/100m	31万5千円/100m	
末端畑地 かんがい施設		21万5千円/10a (35万円/10a)	25万5千円/10a (42万円/10a)	28万円/10a (46万円/10a)	() は樹園地の場合
客土	層厚10cm以上	27万5千円/10a	33万円/10a	36万円/10a	
除礫	深度30cm以上	25万円/10a	30万円/10a	33万円/10a	



令和 9 年度実施要望状況（8 月末時点）

- 区画拡大の実施要望は67地区111ha
- 事業費ベースで、372百万円余
（うち、63百万円余は令和 8 年度追加予算で措置）

通常	集約化	大区画化	合計
52ha	25ha	34ha	111ha



- 令和 8 年度本県配分の約 3 倍（事業費ベース）
- 一方、国の令和 9 年度予算概算要求額は令和 8 年度予算の約 2 倍
⇒ 令和 9 年度予算の本県配分額が実施要望額を下回る可能性

国の予算配分額が実施要望額を満たさない場合 農地の大区画化に係る活用事業・予算優先配分方針（案）

1 大区画化事業 ①1.0ha以上の大区画化、②集約化 に該当

2 大区画化事業 ③農業者（農業法人も含む）が直営施工

◆ ①②③に該当しない場合

3 他事業への移行 ④農地耕作条件改善事業（R9予算範囲で）
⑤いきいき農村基盤整備事業（〃）

◆ ①～⑤該当しない場合
◆ 未配分となった場合

4 次年度以降の実施要望にエントリー

※事業採択を担保するものではない

他事業への移行について【集積と事業主体を検討する必要】

農地耕作条件改善事業

【事業要件】 ◆農地中間管理機構による集積、◆②事業費200万円以上
◆受益者数2者以上

【支援単価】 大区画化等加速化支援事業と同じ（大区画化加算はなし）

【事業主体】 市町村、土地改良区、農業法人、多面的機能支払活動組織等

⇒ 農業者1者の実施要望については、複数でまとまり実施主体を検討する必要

いきいき農村基盤整備事業

【事業要件】 ◆事業費200万円未満、◆受益者数2者以上

【支援単価】 大区画化等加速化支援事業と同じ（大区画化加算と集約化加算なし）

【事業主体】 市町村、土地改良区、農業法人、多面的機能支払活動組織等

⇒ 農業者1者の実施要望については、複数でまとまり実施主体を検討する必要

令和9年度当初予算地区申請スケジュール

内容	令和8年度		令和9年度								
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	～	3月
①内報 (国⇒協議会)											
②地区選定、地区決定 (協議会⇒事業主体)											
③現地ヒアリング(必要に応じて実施)											
④地区採択申請書提出 (事業主体⇒協議会)											
⑤地区採択通知、割当内示 (協議会⇒事業主体)											
⑥地区交付申請書、交付決定前着手 (事業主体⇒協議会)											
⑦工事、完了確認、支払い											

3月末までに工事、完了確認、交付金支払い

※①②④⑤は県農村整備室、農村整備センター等を経由

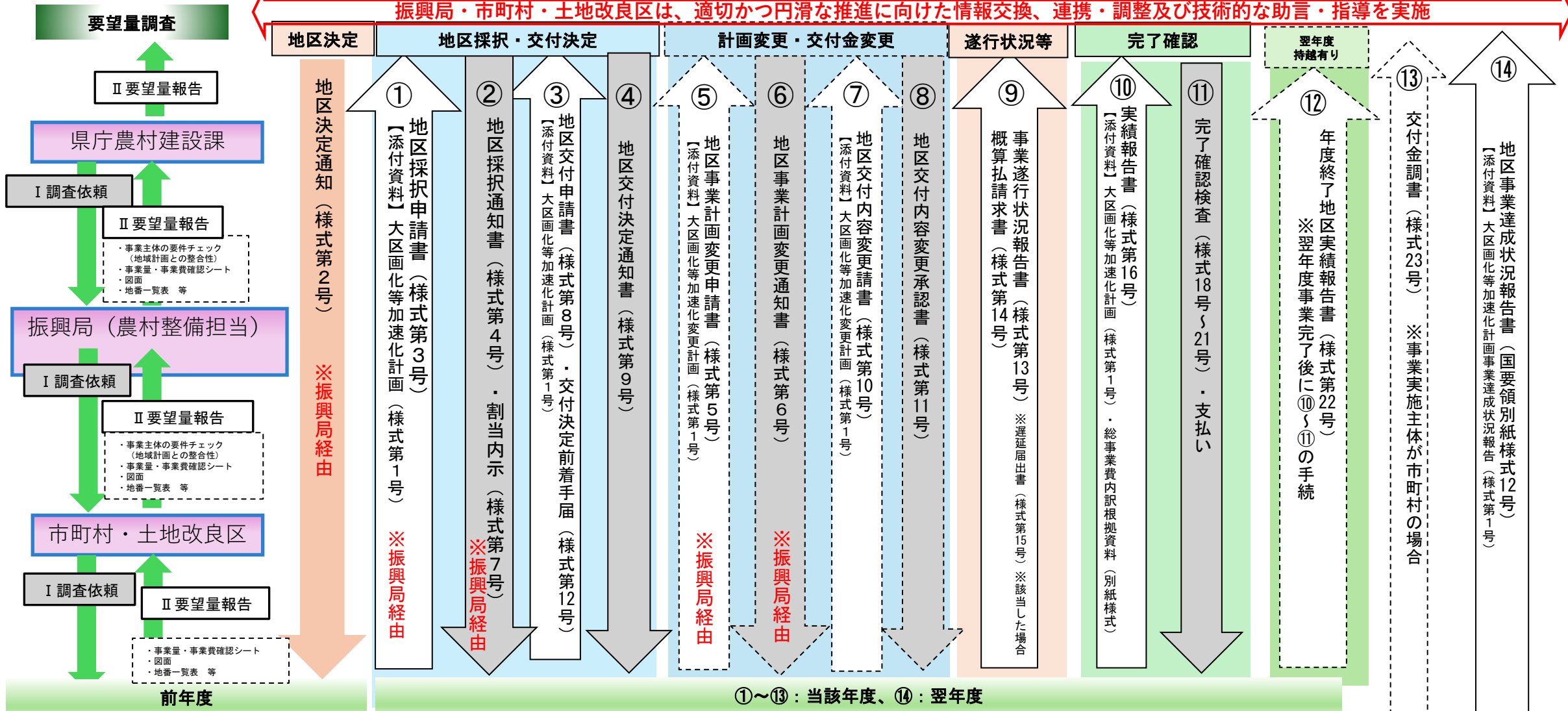
予算要求・申請等における 留意事項

大区画化等加速化支援事業 事務手続きの流れ

岩手県大区画化等加速化支援事業
事務取扱要領によるフロー図

岩手県大区画化等推進協議会

振興局・市町村・土地改良区は、適切かつ円滑な推進に向けた情報交換、連携・調整及び技術的な助言・指導を実施



事業主体 (農業法人・個人担い手・土地改良区等)

事業要望にあたっての留意事項（事業要望時点をお願いしたいこと）

■ 現状

令和8年度の**要望の取り下げ**あり。主な理由は①～③のとおり。

- ① 想定よりも**事業費大**（自己負担が大）
- ② **申請面積の大幅変更**（想定より田差大）
- ③ 所有者、耕作者、工事請負者との**調整不足**

■ 対応

- ① 要望の際に、**概算見積の徴収等による事業費を精査**
（定額助成額を超える額（自己負担額）を把握）
- ② 事業要望箇所の**条件等を現地踏査**するなどして事前に把握
- ③ **所有者との事業実施に係る事前の調整**
請負工事の場合は、**工事実施時期等に係る事前の調整**

1 大区画化等加速化支援事業の申請面積に係る算定方法の修正について

- ① 端数処理（1 a 未満切捨て）は「従前の1筆ごと」ではなく「整備後の農地1枚ごと」に変更
- ② 既採択地区は事業計画の変更手続きにより適正な面積へ修正

事例：3枚の農地（計6筆）を1枚に区画拡大

【整備前】 3枚の農地（計6筆＝2筆×3枚）



【整備後】 1枚に区画拡大（6筆の組田）



端数処理（1 a 未満切捨て）のタイミングの修正

× 従来の説明

【筆ごと】に1 a 未満を切り捨ててから合計

筆番号	地籍(m2)	地籍(a)	申請面積(a)
筆①	2,280	22.8	22
筆②	1,860	18.6	18
筆③	1,540	15.4	15
筆④	1,170	11.7	11
筆⑤	1,950	19.5	19
筆⑥	1,320	13.2	13
計	10,120	101.2	98

申請面積：98 a
(端数(3.2a)が切り捨て)

【単価：通常】

○ 今後の正しい方法

【1枚ごと合算後】に1 a 未満を切り捨て

内容・計算式	面積(a)
6筆の地籍を合算	101.2
(22.8+18.6+15.4+11.7+19.5+13.2=101.2)	
合算値を1 a 未満切捨て	101

申請面積：101 a
(区画拡大後の本来の地籍に近い数値)

【単価：大区画化】

端数処理の修正に伴い、適用する単価が変わる可能性があります

正しい算定手順 & 既採択地区の取扱い方針

■ 今後の算定手順（おさらい）

- ① 区画拡大後の「1枚の土地」を確定
- ② 含まれる全構成筆の地籍を合計（この時点では端数処理しない）
- ③ 合計値から「1 a 未満」を切り捨て（101.2 a → 101 a）
- ④ 算出した適正面積（単価）で事業計画変更・申請

■ 既採択地区の取扱い方針

既採択地区は順次修正対応を行います。

- ① 対象地区の申請面積を新基準で再確認・再算定
- ② 過小算定となっていた地区は「事業計画の変更」及び「交付金の変更」を実施

※ 具体的な変更手続きや提出書類は、別途案内します。

2 区画拡大（水路変更あり）の適用について

- ① 上記単価は、現況排水路を管路化する場合に適用

3 区画拡大に伴う給水栓移動等について

- ① 区画拡大（水路変更なし）の定額助成単価に含まれている

4 国の令和9年度制度拡充等の検討状況について

- ① 定率助成工種の追加
- ② 「暗渠排水」「除礫」等の区画拡大以外の工種は、区画拡大を行う農地に限定
⇒ 区画拡大を伴わない農地における他工種の実施は農地耕作条件改善事業等の活用を検討する必要

○採択申請の留意事項について

- ・採択申請から事業着手まで（申請書類の確認・修正）に1ヶ月程度を要している状況
- ・申請書類の整理、早期提出に御協力を

- ① **申請書類の事前提出（事業実施主体→振興局→協議会）**
→ 事前審査、確認・修正事項の対応 【1～2週間】
- ② **採択申請書の提出（事業実施主体→振興局→協議会）**
- ③ **採択通知書の交付（協議会→振興局→事業実施主体）**
- ④ **割当内示の送付（協議会→事業実施主体）**
→ 審査、決裁手続き 【1週間】
- ⑤ **交付申請書の提出（事業実施主体→協議会）**
- ⑥ **交付決定通知書の交付（協議会→事業実施主体）**
→ 審査、決裁手続き 【1週間】

⇒ ①～⑥を経て**事業着手可**

※ ⑤と併せて「交付決定前着手届」の提出により**事業着手可**

令和9年度当初予算地区申請スケジュール

内容	令和8年度		令和9年度								
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	～	3月
①内報 (国⇒協議会)											
②地区選定、地区決定 (協議会⇒事業主体)											
③現地ヒアリング(必要に応じて実施)											
④地区採択申請書提出 (事業主体⇒協議会)											
⑤地区採択通知、割当内示 (協議会⇒事業主体)											
⑥地区交付申請書、交付決定前着手 (事業主体⇒協議会)											
⑦工事、完了確認、支払い											

※①②④⑤は県農村整備室、農村整備センター等を経由

○ 採択申請の流れについて

≪ 『大区画化等加速化計画』 の作成のポイント ≫

1 地区の概要（該当箇所：様式 p 41～44）

- **地区名**は、事業実施**箇所**に**由来するもの**とすること（個人名や法人名は避ける）
- **6 法指定地域等**は、事業実施箇所が**該当するものを記載**すること（特定農山村地域、振興山村地域、過疎地域、特別豪雪地帯など）
- **受益面積**は、**面積一覧表の合計と一致**させること（「8 事業実施前後の受益農業者の経営状況」の地区内の面積(計)とも一致させること）
- **受益者数**は、**耕作者の数を記載**すること（「8 事業実施前後の受益農業者の経営状況」の農業者の数(計)とも一致させること）

2 ハード事業に係る年度計画（該当箇所：様式 p 41～44）

- **数量**は、面積一覧表で整理した**事業種別・助成単価別の数値**を、事業種別の**単位に留意して入力**すること
また、複数年度に跨る計画の場合は、**実施年度別に整理**すること
- **区画拡大**については、ほ場の**高低差を確認できる資料を添付**すること（資料の作成例は別スライド参照）
- 「(1) 施工の一部又は全部を外部に委託する場合」で、農業者施工を行う場合は、該当する工事の内容（例：法面整形工）を、農業者施工の工種の欄に記入すること

【参考】 高低差確認資料の作成例（その１）

《畦畔天端から田面までの下がりの差により算定する方法》

- 区画拡大する農地の中の畦畔にスタッフやポールを設置
- 畦畔天端から田面までの下がりを実測
- 両田面の下がりの差が区画拡大する田面の高低差となる



計測値：39cm



計測値：45cm

高低差：45cm - 39cm = 6cm
(10cm以下)

【参考】 高低差確認資料の作成例（その2）

《ほ場デジタル情報の活用》

- ドローンの撮影画像を基に、ほ場の形状等をコンピュータ上で立体的に再現するデータを整理
- 任意の点の標高測定・図化が可能 ⇒ 高低差確認資料に活用



No.29～No.33の高低差：100.78m－100.50m＝0.28m ⇒ 10cm超

3 ハード事業の事業達成状況の報告に係る添付写真（該当箇所：様式 p 45）

- 採択申請時には、＜実施前＞の写真を添付すること
（＜施工状況＞及び＜完了後＞は事業達成状況の報告時に添付）
- ＜実施前＞については、事業実施箇所や事業実施の必要性が確認できる写真を添付すること

区画拡大：小区画の農用地、除去する畦畔など

暗渠排水：水はけが悪く湿田化している状況など

除 礫：支障となる石礫が確認できるものなど

※施工前の写真は作付け前に撮影を！

3 ハード事業の事業達成状況の報告に係る添付写真（続き）

- ＜施工状況＞については、**施工機械や工法、順序等が確認できる写真を添付すること**
- ＜完了後＞については、実施前と同一の箇所を撮影するなど、**事業の実施内容や効果が確認できる写真を添付すること**

4 土層改良計画 (2) 除礫 (該当箇所：様式 p 46)

➤ 現況の石礫含有率が5%以上であることを確認すること

□ 1.0m × 1.0m × 除礫施工深を掘削
(除礫施工深 = 計画の耕土深 + 10cm)

□ 30mm網目のふるい分けを実施

⇒ 石礫含有率 = 石礫総体積 ÷ 掘削体積 により算定



7 事業の活用イメージ図と面積一覧表（該当箇所：様式 p 47～48）

- 図面と面積一覧表で、**農地の番号を一致**させること
- 面積一覧表の**所在地・地目・地籍・所有者**は、**登記簿等を基に記載**すること（一筆内で整備しない箇所がある場合、その箇所の面積を控除すること）
- 「**農用地区域**」及び「**地域計画策定区域**」であることを確認すること（**両方に該当する必要**があること）
- 区画拡大実施区域内に**道水路等の土地**が存在しないことを確認すること

7 事業の活用イメージ図と面積一覧表（続き）

- 事業実施内容について、**土地所有者**に説明し**同意を得ること**
（従前の土地境界となっている畦畔除去を伴う区画拡大では特に）
- **集約化の助成単価を適用**する場合は、その**根拠**を備考に**整理**すること
（集約化の定義、適用条件は別スライド参照）
- 図面は**適用単価や事業種類の違い**がわかるように**整理**すること
（色分け等）

8 事業実施前後の受益農業者の経営状況（該当箇所：様式 p 47）

- 地区内の全ての耕作者の状況を記載すること
（法人等は1名としてカウントすること）
- 農業者の名称の(計)の欄は、「1 地区の概要」の受益者数と一致させること
- 「担い手か否か」について、以下（本事業における担い手）に該当する場合は『○』を、該当しない場合は『×』を記載すること
 - ア 認定農業者
 - イ 認定新規農業者
 - ウ 集落営農組織
 - エ 市町村基本構想水準達成者
 - オ 市町村長が認めた者

8 事業実施前後の受益農業者の経営状況（続き）

- 経営面積は、地区外を含めた各農業者の経営面積を記載すること
- 経営面積の「うち地区内」の計は、「1 地区の概要」の受益面積と一致させること
- 事業実施後も、事業実施前と同様に整理・記載すること（担い手への集積・集約が発生する場合は、それが分かるように記載）

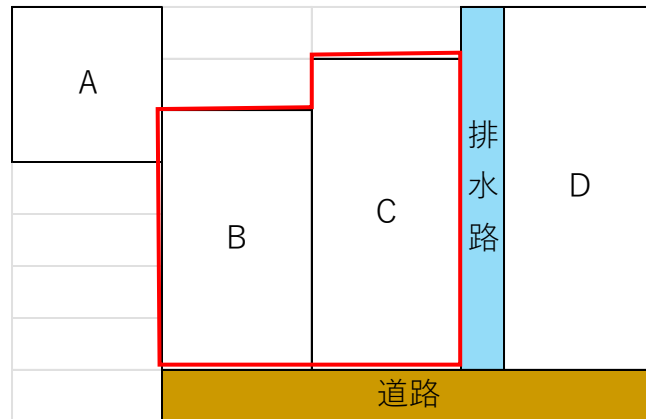
➤ 以下の資料を提出すること

（会計検査の対象事業であり、資料は5年間の保管が必要）

- ① 工種ごとの数量が把握できる資料
- ② 工事前、中、後の状況がわかる写真
- ③ 面積等がわかる図面
- ④ 機械や人の作業時間がわかる日報（自力施工の場合）
- ⑤ 資材やリース機械等の各種領収書（自力施工の場合）
- ⑥ 外注内容が分かる請書及び契約書（外注した場合）

■補足■「集約化」とは

- ・ 同一の担い手の経営等農用地で 1 ha以上のまとまりを有するもの
- ・ 「まとまりを有するもの」の具体例は以下のとおり
(一連の作業を継続するに支障のないもの)
 - (1) 2つ以上の農地が畦畔で接続
 - (2) 2つ以上の農地が道路または水路等で接続
 - (3) 2つ以上の農地が各々一隅で接続
 - (4) 2つ以上の農地の高低差が作業の継続に影響しないもの
 - (5) 2つ以上の農地が当該農用地の耕作者の宅地に接続



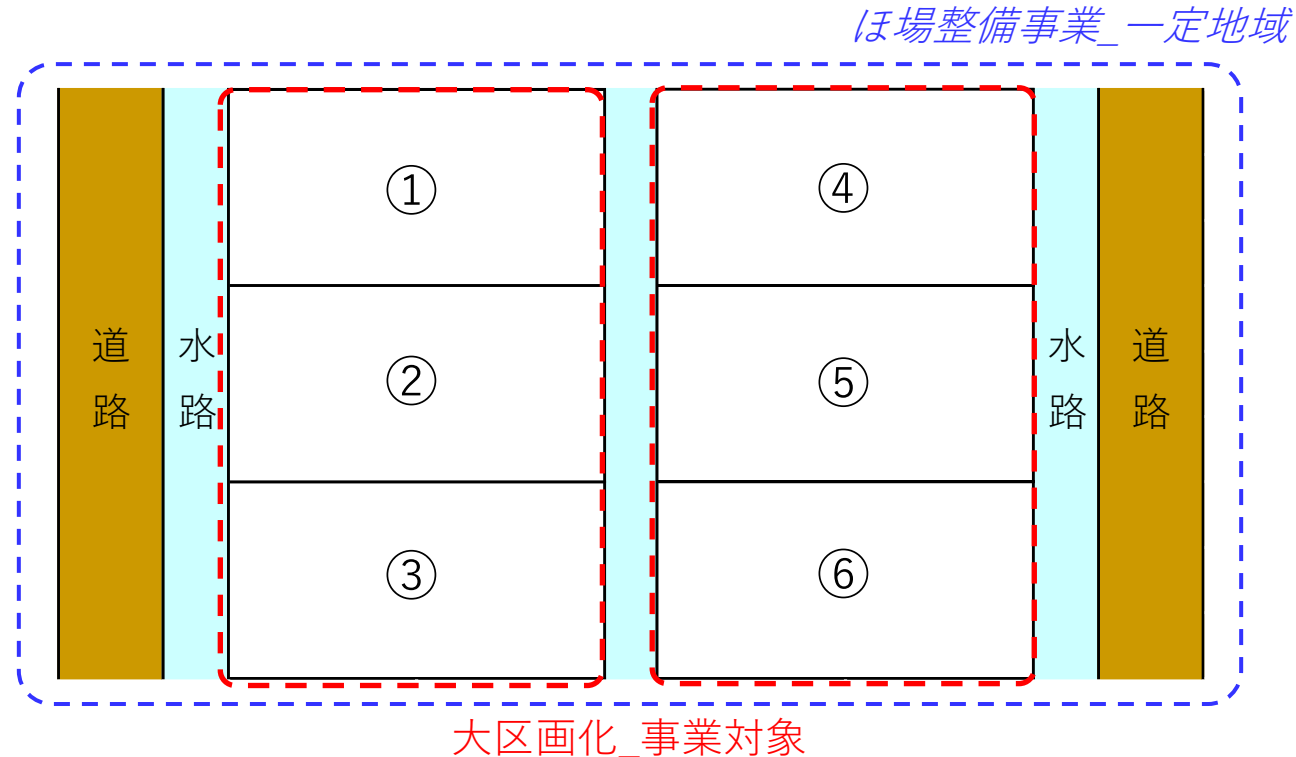
A～Dを同一の担い手が耕作

$$A + B + C + D \geq 1.0\text{ha}$$

→ 集約化する場合の単価を適用

※ 事業対象農用地がBとCのみ
($B + C < 1.0\text{ha}$) でもOK

◇大区画化等加速化支援事業における区画拡大の留意点（その１）



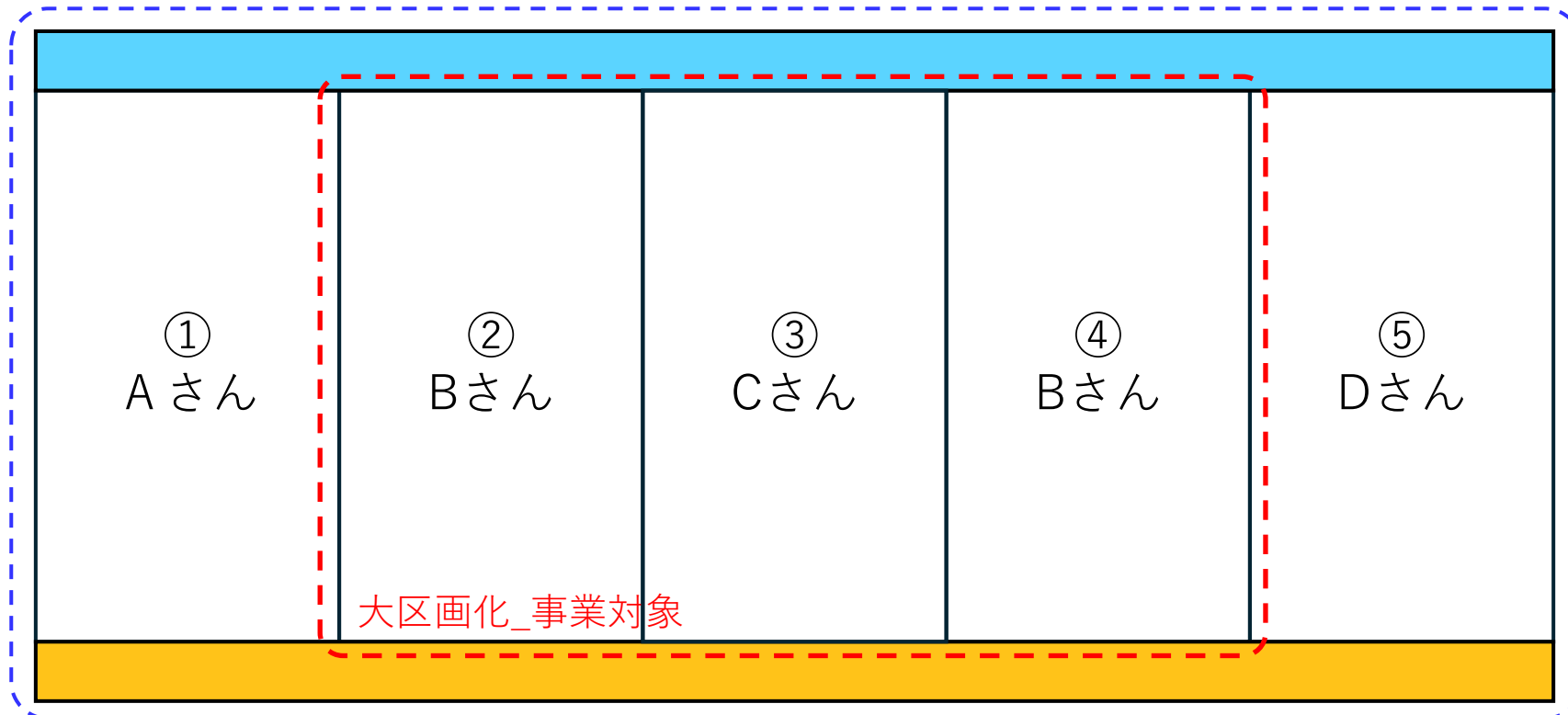
大区画化等加速化支援事業では換地を行わない（前提条件）

→ 区画拡大が可能な範囲は、①～③と④～⑥に限定
水路用地を含めて、①～⑥を１枚にすることはできない

大区画化（大型農業機械の導入）に伴う、道路の拡幅要望に対応できない（道路用地をうみ出すことができない）

◇大区画化等加速化支援事業における区画拡大の留意点（その２）

ほ場整備事業_一定地域



②～③の３枚の農用地を１枚に区画拡大する場合…

- ・ 複数所有者（ＢさんとＣさん）の組田ができる
- ・ ②と③、③と④の畦畔は無くなるが、境界そのものは残る

→ 事業実施前後の境界確認、地権者の合意形成が必要
（将来の権利関係トラブルの未然防止）

参考

事務処理要領・ガイドブック

岩手県大区画化等推進協議会のHP

(<https://www.iwatochi.com/daikukaku-home/>)

【事務処理要領】

8月に策定し、上記HPで掲載済

【ガイドブック及びQ&A】

10月上旬に掲載予定

事業実施場所に由来するものとする
（個人名や法人名は避けること）

「面積－費表」の受益面積の合計と一致させること
また、「8 事業実施前後の受益農業者の経営状況」の
地区内の面積（計）と一致させること

〇〇地区 大区画化等加速化計画（事業達成状況報告）

事業実施場所が該当する地域を記載すること
〔参考：県内の主な6法指定地域等〕
特定農山村地域、振興山村地域、過疎地域、特別豪雪地域

地区名の概要	事業実施主体	関係都道府県・市町村名	6法指定地域等
〇〇	〇〇	岩手県・〇〇	〇〇
事業実施期間	受益面積	地域計画の策定区域名又は 生産緑地等の地区名（策定期間）	受益者数
令和〇〇年	〇〇 ha	〇〇地区（令和〇〇年〇月〇日）	〇〇名

（注） 地域計画策定区域ではなく生産緑地地区等で事業を実施する場合は、「地域計画の策定区域名又は生産緑地等の地区名（策定期間）」の欄において、要領第4第1項第1号のアからウまでのいずれの要件を満たしたかを併せて記載すること。

単年度の場合：令和〇〇年度
複数年の場合：令和〇〇年度～令和〇〇年度
と記載すること

事業実施場所が所在する地域計画の策定区域名
及び策定年月日を記入すること

耕作者の数を記載すること
「8 事業実施前後の受益農業者の経営状況」の
農業者の数（計）と一致させること

2. ハード事業に係る年度計画

（1）施工の一部又は全部を外部に委託する場合

事業種類		助成単価		年度計画												計			農業者 施工の工種	備考
		区分	単価 ^{※1}	○年度				○年度				○年度				数量 （補給処理後）	助成上限額 （円）	実績額 （円）		
				数量	端数処理後	助成上限額 （円）	実績額 （円）	数量	端数処理後	助成上限額 （円）	実績額 （円）	数量	端数処理後	助成上限額 （円）	実績額 （円）					
(1) 農用地の 区画拡大	水路の変更なし	通常	27.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円	法面整形工	
		集約化	33.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	38.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
		通常	25.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い有	30.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	33.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
		通常	7.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		集約化	8.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	9.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
	畦畔除去のみ	通常	4.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		集約化	4.5 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		大区画化	5.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
		通常	11.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		集約化	13.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
	緩傾斜化	大区画化	14.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
		通常	48.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
	イ 水路の変更あり	隣接は場の高低差10cm超、表土扱い有	55.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	61.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
		通常	44.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い有	53.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	58.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
		通常	25.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い無	30.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	33.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
(2) 暗渠排水		バックホウ工法、表土扱い有	通常	22.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円	
	集約化		27.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
	大区画化		29.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
	小計			0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
	通常		22.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
	集約化		28.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
	バックホウ工法、表土扱い無	大区画化	29.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
		通常	18.0 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		集約化	21.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		大区画化	23.5 万円/10a		0.0 a	0 円			0.0 a	0 円			0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円		
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
	トレンチャ工法、表土扱い無	通常	24.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		集約化	28.5 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		大区画化	31.5 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
		通常	23.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		集約化	27.5 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
(3) 湧水処理	表土扱い有	大区画化	30.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
		通常	23.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
	表土扱い無	集約化	27.5 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		大区画化	30.0 万円/100m		0.0 m	0 円			0.0 m	0 円			0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円		
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		

事業種類		助成単価		年度計画												計			農業者 施工の工種	備考
		区分	単価 ^{※1}	○年度				○年度				○年度				数量 (端数処理後)	助成上限額 (円)	実績額 (円)		
				数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)	数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)	数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)					
(4) 未 端 畑 地 か ん が い 施 設	樹園地	通常	35.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	42.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		大区画化	46.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円			
	樹園地以外の畑地	通常	21.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	25.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		大区画化	28.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円			
	ほ場外からの接続管	通常	7.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		集約化	8.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		大区画化	9.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円			
	給水栓設置のみ	通常	2.5 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円			
		集約化	3.0 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円			
		大区画化	3.0 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円			
		小計		0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0 箇所	0 円	0 円		
(5) 客土	通常	27.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	集約化	33.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	大区画化	36.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円			
(6) 除雑	通常	25.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	集約化	30.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	大区画化	33.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円			
(7) 更 新 整 備	ア 用水路	通常	7.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		集約化	8.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		大区画化	9.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
	イ 排水路	通常	7.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		集約化	8.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		大区画化	9.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
	ウ 農作業道	通常	7.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		集約化	8.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		大区画化	9.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
	エ 畦畔	通常	23.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		集約化	27.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		大区画化	31.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
	オ 排水口	通常	2.5 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円			
		集約化	3.0 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円			
		大区画化	3.0 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円			
		小計		0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0 箇所	0 円	0 円		
	カ 特認事業	0.0 万円/ℓ		0.0 ℓ	0 円		0.0 ℓ	0 円		0.0 ℓ	0 円		0.0 ℓ	0 円	0 円					
(8) 畑 作 転 換 工	ア 額縁排水溝	通常	1.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		集約化	1.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		大区画化	1.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円		
	イ 酸度矯正	通常	0.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	0.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		大区画化	0.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
(9) 病 害 虫 対 策	反転耕	通常	30.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
	混層耕	通常	2.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
	堆肥施用	通常	3.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
	明渠排水	通常	1.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円				
合 計					0 円			0 円			0 円			0 円		0 円				

(注) 1 (1) 農用地の区画拡大等で耕地復旧を行わない場合や、(2) 暗渠排水で地下かんがいを導入する場合など、助成単価を減算又は加算すべき事項がある場合は、適切に単価の欄に反映すること。

2 1 の場合においては、助成単価を減算又は加算すべき事項の内容を、備考欄に記載すること（「耕地復旧を行わないため、2.5万円/10aを減算」など）。

3 数量の欄は、単位が「a」、「m」又は「箇所」となるよう数値を入力すること。

4 「農業者施工の工種」の欄には、農業者が直営施工を行う工種がある場合に記載し、「法面整形工」などと、農業者施工が行われる工種を記載すること。

5 (7) 更新整備の力 特認事業を行う場合には、適切に単価の欄に数値を入力するとともに、単位を修正すること。

(2) 施工の全部を農業者が自ら実施する場合

事業種類			助成単価		年度計画												計			備考
					○年度				○年度				○年度				数量 (補助処理後)	助成上限額 (円)	実績額 (円)	
					数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)	数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)	数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)				
(1) 農用地の区画拡大	水路の変更なし	隣接は場の高低差10cm超、表土扱い有	通常	20.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	24.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		大区画化	28.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
		隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い有	通常	18.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	22.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		大区画化	24.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
		隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い無	通常	8.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	7.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		大区画化	7.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
	畦畔除去のみ	通常	4.0 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		集約化	4.5 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		大区画化	5.0 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円				
		緩傾斜化	通常	7.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
			集約化	9.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
	大区画化		9.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	小計			0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
	水路の変更あり	隣接は場の高低差10cm超、表土扱い有	通常	33.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	39.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		大区画化	43.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い有		通常	32.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
集約化		39.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
大区画化		42.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
小計			0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円					
隣接は場の高低差10cm以下、表土扱い無		通常	18.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
集約化		22.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
大区画化		24.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
小計			0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円					
(2) 暗渠排水	バックホウ工法、表土扱い有	通常	16.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		集約化	19.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		大区画化	21.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
		通常	16.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		集約化	19.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	バックホウ工法、表土扱い無	大区画化	21.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
		トレンチャ工法、表土扱い無	通常	13.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円				
		集約化	16.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		大区画化	17.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
(3) 湧水処理	表土扱い有	通常	17.0 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		集約化	20.0 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		大区画化	21.5 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
	表土扱い無	小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円				
		通常	18.5 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		集約化	19.5 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
(4) 未開畑地かんがい施設	樹園地	大区画化	22.0 万円/100m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円				
		通常	24.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		集約化	29.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	樹園地以外の畑地	大区画化	32.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
		通常	15.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		集約化	18.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
	ほ場外からの接続管	大区画化	19.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円					
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円				
		通常	5.0 万円/10m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
		集約化	8.0 万円/10m	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円					
枯水栓設置のみ	大区画化	8.5 万円/10a	0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0 円						
	小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円					
	通常	2.0 万円/箇所	0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 円						
	集約化	2.0 万円/箇所	0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 円						
(5) 客土	大区画化	2.5 万円/箇所	0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 円						
	小計		0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 箇所	0 円	0 円				
	通常	19.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
	集約化	22.5 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
	大区画化	25.0 万円/10a	0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0 円						
	小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円					

事業種類	助成単価		年度計画												計			備考	
	区分	単価 ^{注1}	○年度				○年度				○年度				数量 (端数処理後)	助成上限額 (円)	実績額 (円)		
			数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)	数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)	数量	端数処理後	助成上限額 (円)	実績額 (円)					
(6) 除礫	通常	17.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
	集約化	20.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
	大区画化	22.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
	小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円		
(7) 更新整備	ア 用水路	通常	10.5 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		集約化	12.5 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		大区画化	13.5 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
	イ 排水路	通常	20.5 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		集約化	24.5 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		大区画化	27.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
	ウ 農作業道	通常	8.5 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		集約化	10.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		大区画化	11.0 万円/10m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
	エ 畦畔	通常	11.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		集約化	13.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		大区画化	14.5 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
	オ 排水口	通常	3.5 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円	0 円	
		集約化	4.0 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円	0 円	
		大区画化	4.5 万円/箇所		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円		0 箇所	0 円	0 箇所	0 円	0 円	
		小計		0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0.0 箇所	0 箇所	0 円	0 円	0 箇所	0 円	0 円	
	カ 特認事業		0.0 万円/ℓ		0.0 ℓ	0 円		0.0 ℓ	0 円		0.0 ℓ	0 円		0.0 ℓ	0 円	0.0 ℓ	0 円	0 円	
(8) 畑作転換工	ア 額縁排水溝	通常	1.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		集約化	1.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		大区画化	1.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
		小計		0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0.0 m	0 円	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
	イ 酸度矯正	通常	0.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
		集約化	0.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
		大区画化	0.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
		小計		0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0.0 a	0 円	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
(9) 病害虫対策	反転耕	通常	22.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
	混層耕	通常	1.5 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
	堆肥施用	通常	2.0 万円/10a		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円		0.0 a	0 円	0.0 a	0 円	0 円	
	明渠排水	通常	1.0 万円/100m		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円		0.0 m	0 円	0.0 m	0 円	0 円	
合 計					0 円	0 円			0 円	0 円			0 円	0 円		0 円	0 円		

(注) 1 (1) 農用地の区画拡大等で耕地復旧を行わない場合や、(2) 暗渠排水で地下かんがいを導入する場合など、助成単価を減算又は加算すべき事項がある場合は、適切に単価の欄に反映すること。

2 1の場合においては、助成単価を減算又は加算すべき事項の内容を、備考欄に記載すること（「耕地復旧を行わないため、2.5万円/10aを減算」など）。

3 数量の欄は、単位が「a」、「m」又は「箇所」となるよう数値を入力すること。

4 (7) 更新整備の力 特認事業を行う場合には、適切に単価の欄に数値を入力するとともに、単位を修正すること。

現地写真（代表的な同一箇所）		
<実施前>	<施工状況>	<完了後>
事業実施箇所や事業実施の必要性が確認できる写真を添付すること （例）区画拡大：小区画の農用地が並んでいる状況、除去する畦畔など 暗渠排水：水はけが悪く溜田化している状況など 除礫：機械作業に支障となる石礫が確認できるものなど	施工機械や工法、順序等が確認できる写真を添付すること	施工前と同一の箇所を撮影するなど、事業実施内容（効果）が確認できる写真を添付すること

（注） ハード事業の事業内容ごとに整理・作成すること。

4 土層改良計画（事業達成状況報告）

(1) 客土

『面積一覧表』に整理した数値と一致させること

総客土量 (m3) =
(計画－現況) (cm) / 100 × 面積 (ha) × 10,000

耕土深		面積	総客土量	搬出元	備考
現況	計画				
cm	cm	ha	m ³		

以下を参考に記入すること
1. 人力除礫
2. 機械除礫
3. ふるい分け
4. 破砕・埋戻し

(注) 1 客土を実施しない場合には、この表の作成は不要。
2 現況耕土深の確認に当たっては、土地改良事業計画設計基準・計画・土層改良等を参考として適正に実施するとともに、写真等を整理し添付すること。

(2) 除礫

30mm以上の礫の含有率

『面積一覧表』に整理した数値と一致させること

総除礫量 (m3) =
除礫施工深 (cm) / 100 × 面積 (ha) × 10,000 × (現況－計画) 礫含有率 (%) / 100

30mm以上の礫の含有率		除礫施工深	面積	総除礫量	(計画) 耕土深	使用機械	処理方法	備考
現況	計画							
%	%	cm	ha	m ³	cm			

(注) 1 除礫を実施しない場合には、この表の作成は不要。
2 礫の含有率の確認に当たっては、土地改良事業計画設計基準・計画・土層改良等を参考として適正に実施するとともに、写真等を整理し添付すること。

現況の石礫含有率が5%以上であることを確認すること
1.0m × 1.0m × 除礫施工深を掘削し、30mm網目のふるい分けを実施
石礫含有率は、石礫総体積 ÷ 掘削体積により算定

5 更新整備（特認事業）に係る補足説明資料

実施内容	補足説明
樋門の更新整備	(実施内容の詳細について) ・老朽化の激しい樋門をすべて付け替えるもの。 ・土工：〇〇、設置工：〇〇、規格：〇〇 (更新整備の必要性について) ・当該施設においては、設置されて20年以上経過しており、機能診断結果からも更新整備の必要性が認められているため、今回実施するもの。 (単価の考え方) ・土地改良事業等請負工事積算基準等を用いて費用を算定したもの。

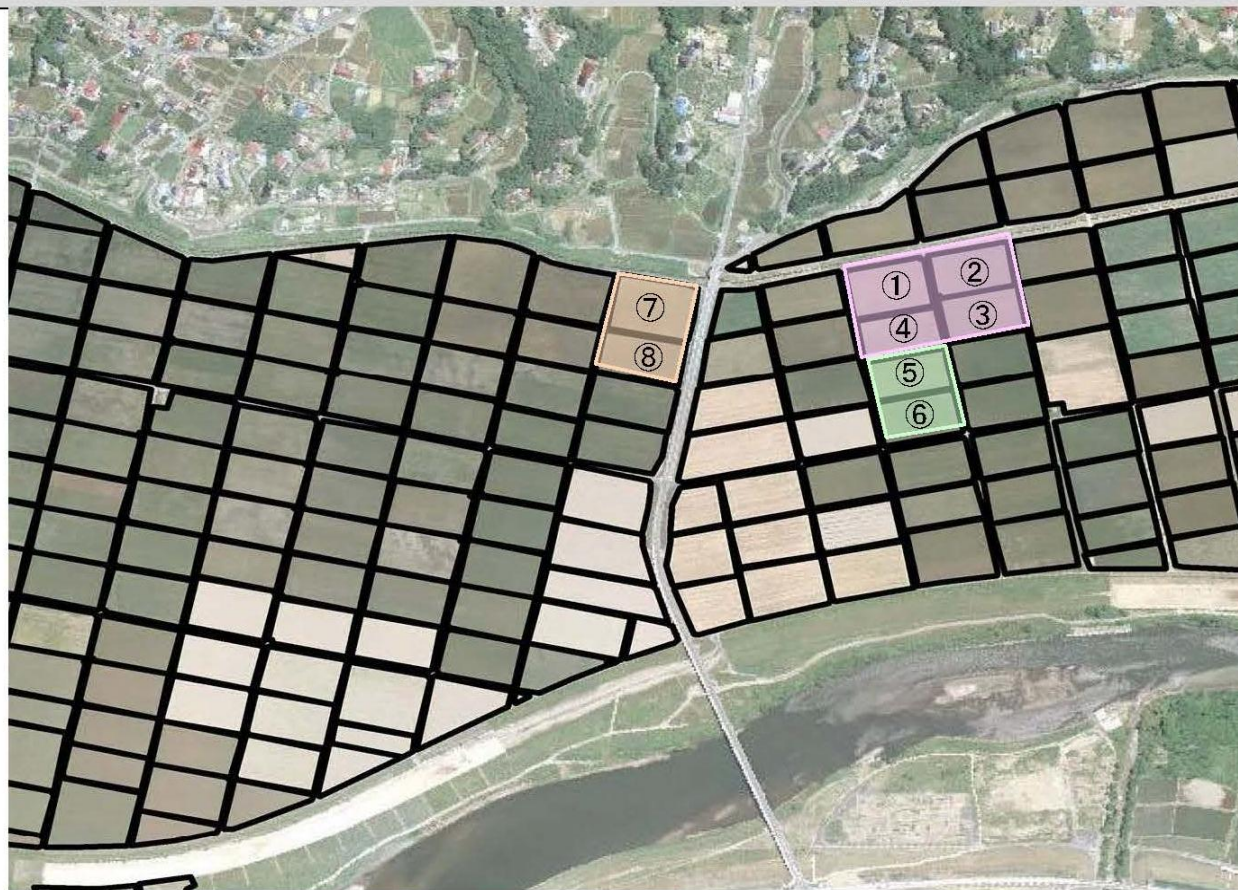
(注) 1 更新整備（特認事業）を実施しない場合には、この補足説明資料の作成は不要。
2 斜体で記載しているものは例示である。当該地区における事業内容に応じて、実施内容及び補足説明を記載すること。
3 実施内容の欄には、根拠や施工数量について記載すること。
4 補足説明の欄には、実施内容の詳細、更新整備の必要性、単価設定の考え方を記載すること。
5 積算書や見積書等の、単価設定の根拠となる資料を添付すること。

6 条件改善推進費に係る年度別事業計画とその内訳

年	取組内容	事業量	事業費	備考
1年目	調査・調整			
	農業意向			
	農地集積			
2年目	調査・調整			
	権利関係			
	水利用高度化推進			
	実施計画策定			
	測量・設計			
	施設保全計画			
3年目	先進的省力化技術導入支援			
	農業機械リース			
計				

(注) 1 条件改善推進費を活用しない場合には、この年度別事業計画の作成は不要。
2 斜体で記載しているものは例示である。当該地区における事業内容に応じて、取組内容等を記載すること。
3 積算書や見積書等の、事業量及び事業費の根拠となる資料を添付すること。

46



適用する単価の違い(通常、集約化、大区画化)の違いがわかるように作成すること
事業種類の区別がわかるように作成すること
各筆の面積は、面積一覧表と整合させること

面積 (a)

番号	面積	区分
①～④	122	大区画化加算
⑤～⑥	60	集約化加算
⑦～⑧	60	

実績報告の際には、以下の資料を提出すること

- ①工種ごとの数量が把握できる資料
- ②工事前、中、後の状況が分かる写真
- ③面積等がわかる図面
- ④機械や人の作業時間がわかる日報(自力施工の場合)
- ⑤資材やリース機械等の各種領収書(自力施工の場合)
- ⑥外注した場合は、外注内容が分かる請書及び契約書

会計検査院の検査対象事業であり、書類は5年間の保管が必要であること

- (注) 1 ハード事業における集約化加算や大区画化加算の対象農地が分かるように記載すること(例えば、ハード事業を行う農地にイメージ図上で番号を振り、その番号と集約化加算・大区画化加算との対応関係を示した凡例を付けるなど)。
2 ハード事業の実施年度が複数年に及ぶ場合には、年度ごとに農地を緑色の色を変えるなど、どの年度にどの農地を整備するか分かるようにすること。

8 事業実施前後の受益農業者の経営状況

地区外も含めた各農業者の経営面積を記入すること

No.	農業者の名称	担い手か否か	事業実施前	
			経営面積	うち地区内
1	○○ ○○	○	ha	ha
2	(株) △△ファーム	○	ha	ha
...	...	...	...	...
A	□□ □□	×	ha	ha
計	A 名		ha	ha

- (注) 1 地区内で経営している農業者の数に応じて、適宜行を追加すること。なお、事業実施前の農業者の数(A名)と実施後の農業者の数(B名)は一致している必要はない。
2 「担い手か否か」の欄には、その農業者が実施要領第2号で規定する担い手に該当する場合には「○」を、該当しない場合には「×」を記載すること。
3 「経営面積」の欄には、地区外も含めた、各農業者の経営面積を記載すること。「うち地区内」の欄には、各農業者の経営面積のうちハード事業の実施区域内の部分の面積を記載すること。なお、「うち地区内」の欄の合計の面積は、地区の受益面積と一致させること。

地区内の全ての耕作者の状況を記載すること
法人等は1名でカウントすること

担い手の定義は以下のとおり
ア 認定農業者
イ 認定新規就農者
ウ 集落営農組織
エ 市町村基本構想水準達成者
オ 市町村長が認めた者

うち地区内の計は
「1. 地区の概要」の受益面積と一致させること

事業実施前と同様に記載すること

No.	農業者の名称	担い手か否か	事業実施後	
			経営面積	うち地区内
1	◇◇ ◇◇	○	ha	ha
2	●●組合	○	ha	ha
...	...	...	...	...
B	■■ ■■	○	ha	ha
計	B 名		ha	ha

【別紙】面積一覽表

[illegible]

その他

～研修会の開催、戦略的な区画拡大に向けて～

農地の大区画化等に係る研修会（予定）

日時	令和9年2月上～中旬
場所	盛岡市内のホテル
内容	① 優良事例の紹介 ② 令和9年度の事業実施に係る留意事項 ③ その他
対象	県、市町村、土地改良区などの農業関係機関 令和9年度に団体営事業を希望している農業者

戦略的な区画拡大に向けて

- ① 市町村が行う**地域計画のブラッシュアップと連動**
⇒ 地域計画のブラッシュアップの過程で集約した農地
をターゲットにした畦畔除去
- ② 岩手県大区画化等推進協議会による**農地交換アプリを活用
した賦存量調査**
⇒ 農地のマッチングによる集約化と連動した畦畔除去



令和 8 年度からの試行も検討中

地域計画のブラッシュアップと連動

- 市町村が行う地域計画のブラッシュアップや農地交換アプリによる農地マッチング（集約化）と連動した区画拡大



- 市町村が行う地域計画のブラッシュアップ等の説明会に大区画化等推進協議会（県現地機関・土地連）が参加し、大区画化等加速化支援事業を説明



- R 9 実施箇所取りまとめ、R 1 0 事業導入
（R 9 の予算が融通できれば R 9 事業実施も検討）

※ 上記の取組に併せて、ほ場整備実施地区の内容も地域計画へ反映

農地交換アプリを活用した賦存量調査

- 賦存量調査箇所を公募（市町村、土地改良区、大規模法人などで、賦存量調査に基づき事業導入の調整等を行うことが条件）



- 応募から 1 ha以上の大区画化が可能な地域を選定
- 協議会が農地交換アプリを活用し賦存量調査を実施



- 賦存量調査をもとに、事業導入に係る地元調整
- R 9 実施箇所取りまとめ、R 1 0 事業導入
（R 9 の予算が融通できれば R 9 事業実施も検討）

